令和6年度 第4回 浜松市立北浜東部中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和6年11月27日(水) 14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 浜松市立北浜東部中学校 会議室
- 3 出席委員 太田高史、池沼純子、河合晴夫、岡部淑江、村松泰成
- 4 欠席委員 岩﨑愛
- 5 学 校 徳田弘子 (校長)、井口崇光 (教頭)、山下孝二 (教務主任)、 堂前拓耶 (生徒指導主事)、中村綱太 (部活動担当)、木村美奈子 (CSディレクター)
- 6 教育委員会 井島健蔵(浜松市教育委員会総務課)
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 木村美奈子
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、河合委員から太田会長を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 部活動地域移行に向けた実態把握について
 - ・地域クラブの地域人材にかかわるアンケートの回答状況
- (2) いじめアンケートについて
 - ・10月のいじめアンケート及び浜松いじめアンケートの状況報告
 - ・地域と家庭でできること
- (3) 全国学力・学習状況調査の結果について

11 会議記録

司会から、委員総数6人のうち5人の出席があり、半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 部活動地域移行に向けた実態把握について
 - ・地域クラブの地域人材にかかわるアンケートの回答状況 教頭よりアンケートの回答状況の報告、説明があった。

議長より委員に意見を求めたところ、委員からは以下の発言があった。

- ・現段階は、『休日のみ指導をお願いしたい』という内容が、まだ認知されていない。 段階を追って徐々にコーチから指導者になってもらえたら良いと思う。 (太田委員)
- ・回覧を回して良かったと思う。 他の市では部活動が移行されつつあるようだ。 (村松委員)
- ・指導者が揃った部活動から始めていくのか。一斉に始めていくのか。 (池沼委員) →浜松市として競技(部活動)ごとに実態が違い、まだ予想できない。 (学校)

・競技を通して仲間(指導者)がいて指導者が増えることが期待できるのではないか。 時間があいてしまうと、応募してくれた方が離れてしまわないか心配。 (太田委員)

・近隣の中学校では、アンケートをとっているのか。

(村松委員)

→北浜東部中のみアンケートを実施したようである。

(学校)

部活動担当・中村より新入生説明会の報告があった。

・新入生説明会で保護者から部活動に関しての質問はあったか。

(太田委員)

→なかった。

(学校)

→親同士の中では話が出ていると思う。

内容は分からないが、変わることは認識している。

(池沼委員)

指導課が作成した地域クラブについてのプレゼンテーションを見ながら、校長が説明をした。

・とても分かりやすい。なぜ、地域移行なのか、よく分かった。

(池沼委員)

- ・少子化の為、これまで通りの活動を維持することが難しくなってきている。(太田委員)
- ・働き方改革と聞いていたが、プレゼンをみて詳しく理解ができた。 (河合委員)

(2) いじめアンケートについて

- ・10月のいじめアンケート及び第2回浜松いじめアンケートの状況報告
- ・地域と家庭でできること

生徒指導主事 堂前より報告があった。

・アンケート結果をみると、いじめに対して子どもと大人では認識の違いがあるのではないか。

(太田委員)

→いじめ認定の定義がある。

学校・家庭・子ども、との間で温度差が出てくる。

(学校)

→当たらず触らずといった状況になり、コミュニケーションが取りにくい状態になってくるのではないか。 (池沼委員)

→池沼委員と同感。話を聞いて共感はする。

(村松委員)

→義理や人情はなくなるのではないか。

(池沼委員)

→同じことを言っても、言われた方は相手によって受け止め方に違いが出てくることもある。

相手によっては嫌な気持ちにもなる。

(岡部委員)

→クラスでの話し合いの場があったりするといいと思う。

(河合委員)

→人間関係は難しい。ぶつかり合って、成長していくと思う。

(岡部委員)

(3) 全国学力・学習状況調査の結果について 教務主任 山下より報告があった。

・回覧でも報告があった。

(太田委員)

その他報告事項等

司会から、次回会議は2025年2月18日(火)北浜東部中学校で開催する旨の報告があった。 詳細については、改めて通知する。